

# 淀の絆

## 大淀学区小中一貫教育「人権教育広報誌」大淀中学校区 3校人権教育部会 不定期刊

大淀学区に少しづつ春の兆しが見られるようになりました。日頃は大淀中学校区小中一貫教育推進にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて大淀学区におきましては、明親小学校、美豆小学校の2校が連携した取組や大淀中学と2小学校が連携した小中一貫の取組を進めています。とりわけ「人を大切にする」人権教育の取組においては3つの学校が同じ理念で同じ方向をもって1年を通して取組を推進しています。広報誌「淀の絆」ではその取組を紹介させていただきます。ご家庭や地域におかれましては、家庭や地域での子どもたちへの見守りの中で今までと変わらずご理解とご協力をいただけますようよろしくお願ひいたします。

### 大淀中学校 12月「大淀ヒューマンタイム講演会」

道志真弓さんを講師に迎え、「笑顔の戦士～生きているって幸せ～」というテーマで、ご自身の体験をもとに、命の大切さ・障害のこと・家族のこと・親子のことを話していました。子どもたちは、事前に文章を読み、ビデオを観て、いたので今日の道志さんの話も心に入りやすかった様に思いました。

「生まれてこなければよかった命なんて、この世にひとつもありません！」講演最後に話してくれたこの言葉は、子どもたちに深く届いたようです。



＜大淀ヒューマンタイム講演会＞



＜憲法月間講話 明親小＞

### 明親小学校 5月 憲法月間

5月の朝会では、校長から日本国憲法について、子どもたちにお話をしました。

○日本の国の主人公（中心）は国民であるみんなにあること（みんなが主役）

○戦争は永久に絶対にしないということ

○みんな自由で、平等であるということ

とりわけ『基本的人権の尊重』については、「みんな一人ひとりが同じように大切にされなければならない。」ということを考えられるように、【はやくはやくっていわないで】という絵本を読み、その後の学級活動で、一人ひとりの違いについて、考えたことを話し合いました。

#### 子どもの声

◎ この本の主人公を見て、わたしも、みんなとちがうことや、みんなよりできないこともあるけど、ゆっくり成長して、ゆっくり道を進んでいきたいと思いました。（3年）

平成29年 3月 吉日

大淀中学校 校長 脇坂 満  
明親小学校 校長 安井 君江  
美豆小学校 校長 高嶋 登

### ＜美豆小学校 7月 人権集会の取組＞

美豆小学校では、道徳の学習や道徳教育の中でも子どもたちの「人を大切にする心」を育てていけるよう取り組んでいます。今年度は、様々な学年の仲間と共に意見を交流し合う中で、多様な考え方につれ、広い視野で仲間を見つめたり、自分自身や仲間を大切にしようとする気持ちを高めたりすることができるよう「人権集会」を低・中・高学年の2学年合同で実施しました。

テーマ わたしにとって友だちって・・・

～あなたは友だちを大切にできていますか？どんな友だちでいいですか？～

低学年（1・2年）は、絵本「ごめんねともだち」をもとに、喧嘩をしていたきつねとおおかみが、最後になかよくなれたのは、どうしてなのかを考えることを通して、学年の友達に目を向け、友だちと仲良く過ごすための言葉について考えました。実際に子どもたちがペーパーサポートを持ちながら、意見を交流しました。



中学年（3・4年）は、絵本「友だちやもんな、ぼくら」をもとに、主人公の『ぼく』や主人公を助ける友だちの気持ちを考えることを通して、身近にいる友だちとなかよく過ごしていくために大切なことについて考えました。「友達となかよくするために大切なことは何か」をテーマとした小グループでの話し合いでは、『なかよく、やさしく、助け合う』『友だちのことを思う心をもつ』などと様々な意見を交流することができました。

高学年（5・6年）は、「口に出さない」という教材をもとに、悪口を言ってしまう年下の女の子へ、自分のおもいを伝える文章を考え、書くことを通じて、円滑に友達関係を築くために大切なことを考えました。悪口を言ってしまう気持ちが分かるかどうかを考えながら、お話に出てくる女の子に対して、小グループで手紙を書く事を通して気持ちを通わせました。

普段なかなか交流することのない異学年の仲間と共に学習を進めることで、上級生が下級生に優しく声かけをする姿や逆に下級生が真剣に上級生の話を聞こうとする姿が見られ、「心」を通わせることができた時間となりました。上級生と下級生が「人を大切にすること」を意識した話し合いをもつことで、日頃より心を通わす機会としていけたらと考え、今後も取り組みを進めています。

明親小学校、美豆小学校では、それぞれ名称は異なるものの各月テーマを設けて、学年ごとに「人権学習」に取り組んでいます。そして、人権に関する同じ学びをもって大淀中学校に進学した後は、小学校での学習の基盤の上に中学校での「人権学習」を展開しています。

(裏面に続く)

## 美豆小学校・明親小学校・大淀中学校の「人権学習」

### <美豆小学校 人権学習の取組 「美豆なかよしタイム」>

何気ない毎日の中にある「優しさ」や「互いのよさ」に目を向け、「人を大切にする心」をもち、その心をあたためられるように、美豆小学校では「美豆なかよしタイム」と題して人権学習に取り組んでいます。総合育成教育・男女平等教育・外国人教育・国際理解教育・健康教育などの人権に関わる内容から、毎月テーマを決めて全校が同じテーマで行っています。1年生から6年生まで毎年取り組むことで、差別や偏見がなく、みんな平等に、なかよく過ごせる社会になるにはどうしていくとよいか自分の意見をもつことができるようになると取り組んでいます。また、その間に学習したことや子どもたちの感想文を職員室前の掲示板に学年ごとに掲示し、交流できるようにしています。



### <明親小学校 人権学習の取組 「心の広場」>

毎月テーマを決めて、全学年が同じテーマで道徳及び社会の学習、または学級活動で取り組み、その間に学んだことを掲示板「心の広場」に掲示し、児童集会で作文発表をして交流しています。

今年度も4月「生徒指導」5月「憲法月間」6月「男女平等教育」7月「健康教育～生と性に関する指導～」9月「総合育成支援教育」10月「みんなが笑顔になるために」11月「人権集会」12月「道徳」1月「外国人教育」2月「健康教育～からだ健康月間」の取組を進めました。作文発表も、全校で交流し、考えを深めています。



### <取組の中で寄せられた明親小の子どもたちの声>

#### 「生徒指導～あいさつ～」4月

◎あいさつしたら友だちになれるというのは知らなかったけど、それを知ったおかげでいろいろな人にあいさつをしたくなりました。 (3年)

◎あいさつをすると大人の人ともなかよくなれるから、となりの家の人が学校の先生にしつかりあいさつをして、いろいろな人となかよくなりたいと思いました。 (3年)

◎あいさつには、「太陽といっしょに明るく生きて」「太陽といっしょに生きている。」といろいろな思いがこめられているということを知ったので、これからあいさつする時は、心をこめて、笑顔で気持ちのよいあいさつをしたいと思いました。 (6年)

◎あいさつの中には、たくさんの意味がこめられていることがわかったから、その意味を思い出して、自分がされてうれしいあいさつをしたいと思いました。あいさつは、大切なことだとわかりました。 (6年)

### 「男女平等教育」6月

◎おんなのこがあおをすきでもいいよ。サッカーがすきなおんなのこ、わたしのしょうがつこうにいるよ。 (1年)

◎じぶんでかんがえてきめたらいいよ。みんなでサッカーをするとたのしいよ。 (1年)

◎スポーツは男女差別なくだれでもできるというのがわかった。ぼくのともだちの妹もサッカーをしています。ドリブルがうまいです。毎週来ています。(6年(若草))

◎男女には、あっていい違い、いけない違いがあつていいと思いました。性別は自分にはあるけれど、選ぶものには性別がないから、自分で決めるものだと思いました。

男子がいい女子がいいとかないと思いました。 (5年)

◎自分は今まで、男女にあっていい違いの方ばかり考えていました。男女にあってはいけない違いも大切なんだなあと思いました。ぼくは女が青、男がピンクなんて変だと思っていて、あってはいけない違いと思っていたけど、あっていい違いなんだなと思いました。 (5年)

### <大淀中学校 人権学習の取組 >

#### 「はじめての手話～手話は言語です～」

1年生の人権学習は、聴覚障害の方を講師に招き、手話通訳の方を通して「手話講習会」を行いました。前半は、1歳の時に高熱を出し、その後耳が聞こえなくなったという経緯から、聴覚障害者の生活や便利グッズ、さらにはコミュニケーションの取り方等について話していただきました。後半は、コミュニケーションの中でもほぼ100%相手と会話ができる「手話」を学び、実際に自己紹介を子どもたちに練習してもらいました。今回は手話のごく一部しか学習できませんでしたが、子どもたちにとって良い経験となりました。



#### 「国際交流プログラム PICNIK (ピクニック)」

2年生は国際交流プログラム PICNIK (ピクニック)を行いました。日本に住んでいる外国人留学生を、各クラスに講師としてお招きし(1組:モンゴル 2組:ドイツ 3組:トルコ)、その国の言語・文化・歴史・食べ物等を紹介してもらいました。4時間という時間が短く感じるほど充実した内容でした。外国のことを知ることで自分たちの文化が見えてきます。子どもたち多くの気付きがあったようです。



#### 「差別について考える」3年生は「部落差別」について

学習しました。見えにくい差別もあり、どのようにして子どもたちに伝えていくのか。どうすれば差別に気づかせることができるのかということを中心に学習が行われました。子どもたちは、なぜこのような差別がおこなわれるようになったのか。人々はどのように差別を改善しようと立ち上がっていったのか。現在ではどのような差別に苦しんでいるのか。そして、差別を受けた人たちの思いについて順をおって考えてきました。子どもたちはいつもより増して真剣に取り組み、考えていました。3年生は、中学校での人権学習はこれで最後になりますが、これからも自ら率先して学んでいってほしいと思います。